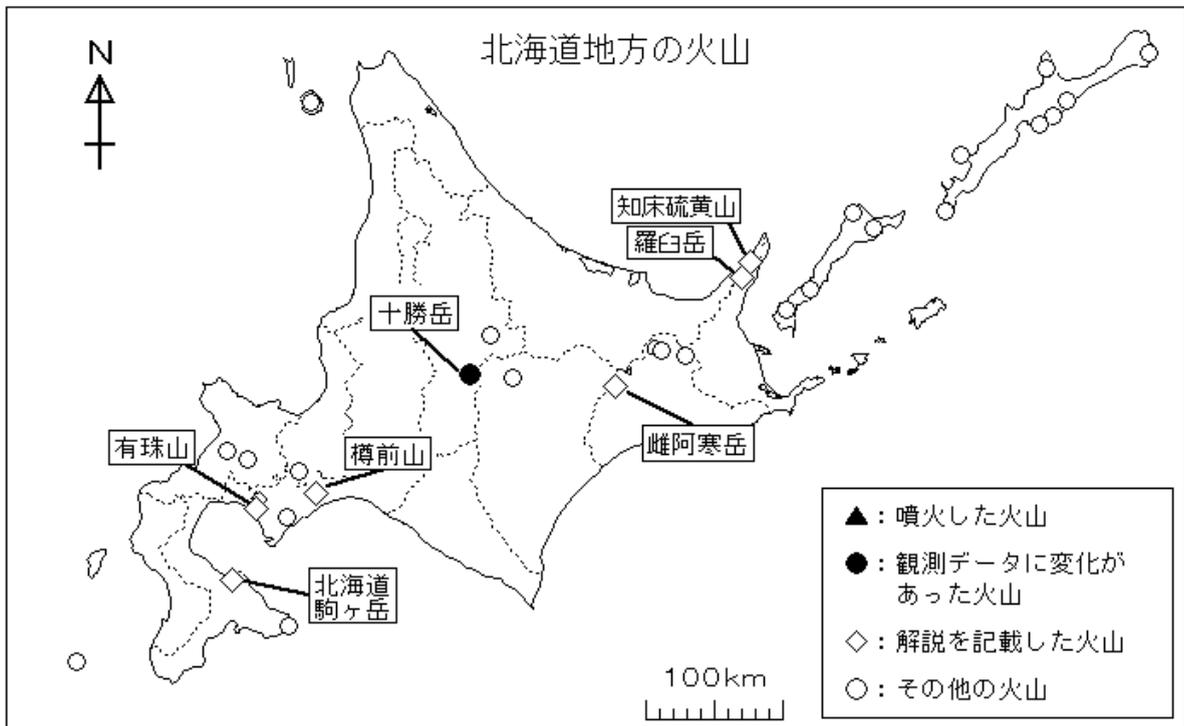


北海道地方の火山活動解説資料(平成 15 年 5 月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



知床硫黄山

上空からの観測では、従来から知られている弱い噴気と地熱域が中腹火口で認められましたが、特に異常はありませんでした。

羅臼岳

上空からの観測では、噴気や地熱は認められませんでした。

雌阿寒岳

下旬にポンマチネシリ火口直下の浅いところが震源と推定される微小な地震がやや増加しましたが、噴煙などの表面現象に変化はありませんでした。

十勝岳

19 日と 24 日に規模の小さな火山性微動が観測されました。62-2 火口では活発な噴煙活動が続いていますが、この微動の前後で特に変化はありませんでした。

樽前山

調査観測の結果、A 火口および B 噴気孔群では高温の状態が継続していることを確認しました。この期間、顕著な地震の増加はありませんでした。

有珠山

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

地震活動、噴煙活動は静穏に経過しました。GPS 観測では、引き続きわずかな山体膨張傾向が見られています。

次の火山活動解説資料(平成 15 年 6 月分)は 7 月 7 日に公表します。

(札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)

(気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)